

情報通信審議会 情報通信技術分科会
携帯電話等高度化委員会
第 4 世代移動通信システム作業班（第 2 回） 議事要旨（案）

1 日時

平成24年 7 月 4 日(水) 14:30~15:45

2 場所

中央合同庁舎第 7 号館西館(金融庁) 12階 共用第 2 特別会議室

3 出席者(敬称略)

作業班構成員:

若尾 正義	(一社)電波産業会
吉村 直子	(独)情報通信研究機構
石田 和人	クアルコムジャパン(株) (代理:ゲオルギウ ヴァレンティン)
石川 禎典	(株)日立製作所
今井 亨	日本放送協会
長内 忍	(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ
川島 修	(株)エフエム東京
河野 宇博	スカパーJ S A T(株)
菅田 明則	K D D I(株) (代理:小田 成司)
高田 仁	(一社)日本民間放送連盟
高橋 政博	(株)テレビ朝日
田中 伸一	ソフトバンクモバイル(株)
皆瀬 修	富士通(株)
中川 永伸	(財)テレコムエンジニアリングセンター
吉田 英邦	日本電信電話(株)
中村 光行	日本電気(株)
日高 秀樹	京セラ(株) (代理:柏瀬 薦)
古川 憲志	(株)NTTドコモ
三浦 望	パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)
諸橋 知雄	イー・アクセス(株)
山崎 潤	ノキアシーメンスネットワークス(株)
山本 裕彦	シャープ(株)
要海 敏和	UQコミュニケーションズ(株)

事務局:

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 田原、同課 課長補佐 中越、同課
第二技術係長 松元、同課 第二技術係 小池

4 配布資料

資料番号	配布資料	提出元
資料4G移2-1	第4世代移動通信システム作業班(第1回)議事要旨(案)	事務局
資料4G移2-2	LTE-Advancedの導入に向けて	イー・アクセス
資料4G移2-3	IMT-Advancedの導入に向けて	KDDI
資料4G移2-4	第4世代移動通信システム技術的条件の検討について	ソフトバンク モバイル
資料4G移2-5	C-Band 固定衛星業務システムへの干渉評価について	スカパーJ S A T
資料4G移2-6	IMT-Advanced システムとの周波数共用検討 衛星回線への影響について	KDDI
参考1	第4世代移動通信システム作業班 構成員	事務局
参考2	3.4-4. 2GHz 帯における周波数の分配と割当状況	事務局

5 議事概要

(1) 前回議事要旨について

前回議事要旨(案)(資料4G移2-1)は、作業班構成員に事前に送付されていることから読み上げは省略して配付のみとし、気づきの点があれば、7月10日(火)までに事務局まで知らせることとなった。(その後、修正意見等は特になかった。)

(2) 第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)について

ア 諸橋構成員から、資料4G移2-2に基づき、第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

事務局：①IMT-Advancedの位置付けとして、3.4～3.6GHzは屋内の局所的トラヒック対策をメインに用いるのか。②繁華街では屋内トラヒックが多いのか。③キャリアアグリゲーションは低い周波数が対象となるのか。

諸橋構成員：①屋内を含む局所的トラヒック対策としたほうが、より正しい表現となる。②繁華街では屋内トラヒックが高くなる傾向がある。③今後のことを考えれば3.4～3.6GHzも対象となり得るが、当初は低い周波数を対象とすることを考えている。

イ 菅田構成員から、資料4G移2-3に基づき、第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

石田構成員：割当て周波数がTDD換算で80MHzとのことだったが、その際の条件はどのようなものか。

菅田構成員：詳細については今後検討していくものと考えている。

ウ 田中構成員から、資料4G移2-4に基づき、第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)についての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

河野構成員：7ページにて導入イメージが示されているが、3.4～3.6GHzについては大都市への展開を想定しているのか。

田中構成員：都市部・高トラヒックエリアからの展開を考えており、高トラヒックエリアであれば大都市に限らず展開していくことを想定している。

(3) 固定衛星業務(Cバンドダウンリンク)用無線システムについて

河野構成員及び菅田構成員から、それぞれ資料4G移2-5及び資料4G移2-6に基づき、固定衛星業務(Cバンドダウンリンク)用無線システムについての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：①対象の3.4～3.6GHzはダウンリンクのみか。②国内で免許をしている曲は数局程度しかないのか。

河野構成員：①そのとおり。アップリンクはもっと高い周波数を使用している。②免許が必要な局は数局程度しかない。しかしTVの受信局などがもっと多くあると思う。

若尾主任：KDDIもインテルサットのフィーダリンクを使用しているのか。

菅田構成員：山口県にある地球局で利用している。

田中構成員：過去に技術試験事務でCバンドとの共用の検討を行ったと思うが、その際の資料の引用はされるのか。

事務局：過去の技術試験事務で得られた結果も活用しながら干渉検討等進めていくことを考えている。

(7) その他

事務局から、次回作業班については7月下旬から8月上旬頃に開催予定であるが、詳細については主任と相談の上、別途連絡されることが連絡された。

以上